

5 特別職の報酬等（平成18年4月1日現在）

区 分		月 額	期 末 手 当		
給 料	市 長 助 役 収入役	964,000円 791,000円 676,000円	6月期 12月期	1.60月分 1.75月分	計3.35月分

注 期末手当には40 / 100の加算があります。

区 分		月 額	期 末 手 当		
報 酬	議 長 副議長 議 員	550,000円 477,000円 441,000円	6月期 12月期	1.60月分 1.75月分	計3.35月分

職員数など

1. 職員数の状況

(1) 部門別職員数 (平成18年4月1日現在)

区 分	部 門	職 員 数		前年度比較
		平成18年度	平成17年度	
一 般 行 政	議 会	8人	8人	0人
	総 務	221人	204人	17人
	税 務	85人	85人	0人
	労 働	2人	1人	1人
	農林水産	83人	82人	1人
	商 工	31人	30人	1人
	土 木	148人	151人	3人
	民 生	116人	122人	6人
	衛 生	93人	98人	5人
	小 計	787人	781人	6人

注 職員数には教育長を含みます。

(2) 年齢構成（教育長を除く一般職1,503人） 平成18年4月1日現在

年齢（歳）	～20	20～23	24～27	28～31	32～35	36～39
職員数	2人	24人	110人	211人	240人	162人
年齢（歳）	40～43	44～47	48～51	52～55	56～59	60～
職員数	187人	188人	188人	106人	84人	1人

職員の勤務条件

1. 職員の勤務時間その他の勤務条件

(1) 職員の勤務時間

1週間の正規の勤務時間	1日の正規の勤務時間	勤務時刻	休憩時間	休憩時間
40時間	8時間	8:30～17:15	12:15～13:00	12:00～12:15 15:00～15:15

注 職場により、勤務時刻や休憩、休憩時間が異なる場合があります。

2. 職員の分限及び懲戒処分（平成17年度中）

(1) 分限処分者数

処 分	降 任	免 職	休 職	降 給	計
人数	0	0	18	0	18

注 分限処分とは、職員が病気など一定の事由によりその職務を十分に果たすことができない場合など、本人の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことです。

3. 職員の服務

職員の年次有給休暇の取得状況（平成17年中 一般行政職844人対象）

平均付与日数	平均取得日数	取 得 率
38.7日	8.5日	22.1%

5. 職員の福利及び利益の保護

(1) 職員のための福利厚生活動

健康診断、メンタルヘルス研修等職員の健康管理に努めるとともに、鳥根県市町村職員共済組合に加入し、福利厚生事業を行っています。また、職員で構成する出雲市職員共済会で、文化、芸術、スポーツ活動等の事業を行っています。

人事行政の運営等の状況に関する公表

職員の給与や定員管理等については、地方自治法に基づき、市で条例を定め、毎年度公表することとしています。今回の記事は、公表内容の一部を抜粋したものです。詳細な情報は、市のホームページ等で公開しています。

市職員の給与などに関するおたずねは
人事課（TEL 21 - 2211 内線2411）

2. 定員適正化計画

定員適正化計画については、合併後10年間で職員を255人削減するという合併調整方針に基づき現在策定中であり、策定後にお知らせします。

区 分	部 門	職 員 数		前年度比較
		平成18年度	平成17年度	
特 別 行 政	教 育	233人	255人	22人
	消 防	189人	190人	1人
	小 計	422人	445人	23人
	病 院	150人	160人	10人
公 営 企 業 等	水 道	55人	55人	0人
	下 水 道	50人	49人	1人
	そ の 他	40人	41人	1人
	小 計	295人	305人	10人
	合 計	1,504人	1,531人	27人

注 人口は、平成18年3月31日現在の住民基本台帳の人数です。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）

年 度	H13	H14	H15	H16	H17
出 雲 市	104.3	104.0	103.6	101.1	99.8
鳥根県内市平均	102.9	102.7	101.9	100.1	98.9

注 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。平成16年度までは旧出雲市の指数です。平成18年度は、現在のところ確定していません。

市職員の給与などの状況をお知らせします

市では、平成18年4月1日現在で1,504人の職員が勤務し、市民生活に関わるさまざまな分野の行政サービスを行っています。市職員の給与は、地方公務員法に基づき、国家公務員に準じて、市の条例や規則などの規定により支給されています。

職員の給与には、基本給としての給料と、扶養・住居・通勤手当、民間の賞与に当たる期末手当・勤勉手当などがあります。今回は、これら給与のことや職員数、サービスの状況などについてお知らせします。

職員の給与など

1. 総括

(1) 人件費の状況（平成17年度普通会計決算）

人 口	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費比率（B/A）
人	千円	千円	千円	%
147,074	67,650,399	1,353,387	11,222,200	16.6

注 人口は、平成18年3月31日現在の住民基本台帳の人数です。

(2) 職員給与費の状況（平成18年度普通会計予算）

職員数（A）	給 与 費				1人当たり給与費（B/A）
	給 料	職員手当	期末手当 勤勉手当	計（B）	
人	千円	千円	千円	千円	千円
1,213	4,791,088	812,004	2,025,158	7,628,250	6,289

注 給与費は、特別職を除き、当初予算に計上された額です。職員手当には、退職手当を含めていません。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）

年 度	H13	H14	H15	H16	H17
出 雲 市	104.3	104.0	103.6	101.1	99.8
鳥根県内市平均	102.9	102.7	101.9	100.1	98.9

注 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。平成16年度までは旧出雲市の指数です。平成18年度は、現在のところ確定していません。

2. 職員の平均給与月額、初任給等の状況（平成18年4月1日現在）

(1) 一般行政職の平均給料月額及び平均年齢の状況

区 分	出雲市	国
平均給料月額	334,802円	329,728円
平均年齢	40歳8月	40歳3月

注 国については、平成17年4月1日現在の数値です。

(2) 職員の初任給

区 分	出雲市	国
大学卒	170,200円	170,200円
高校卒	138,400円	138,400円

(3) 経験年数・学歴別平均給料額

区 分	経 験 年 数			
	10年	15年	20年	
一般行政職	大学卒	267,020円	330,139円	374,755円
	高校卒	223,900円	282,700円	346,732円

3. 一般行政職の級別職員数等（平成18年4月1日現在）

給料表の級	標準的な職務内容	職員数	構成比率
1級	主事	25人	3.1%
2級	主事	93人	11.4%
3級	主事	217人	26.5%
4級	係長、主任	192人	23.5%

給料表の級	標準的な職務内容	職員数	構成比率
5級	課長補佐、係長、主任	175人	21.4%
6級	課長、主査	78人	9.5%
7級	部長、理事、次長	38人	4.6%
8級	部長、理事	0人	0.0%

4. 職員手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当 (平成18年4月1日現在)

区分	出雲市		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.40月分	0.725月分	1.40月分	0.725月分
12月期	1.60月分	0.725月分	1.60月分	0.725月分
計	3.00月分	1.45月分	3.00月分	1.45月分
その他	職制上の段階、職務の級などにより加算措置あり		職制上の段階、職務の級などにより加算措置あり	

(3) 扶養手当

(平成18年4月1日現在)

区 分	出雲市	国
配偶者	13,000円	13,000円
扶養親族でない配偶者を有する場合の1人目の親族	6,500円	6,500円
扶養親族である配偶者を有する場合の1人目の親族並びに2人目の親族	6,000円	6,000円
配偶者のいない場合の1人目の親族	11,000円	11,000円
上記以外の扶養親族（1人につき）	5,000円	5,000円
特定期間（満16歳年度ははじめから満22歳年度末）の子の加算	5,000円	5,000円

(5) 通勤手当

(平成18年4月1日現在)

交通機関利用者	交通機関などを利用して通勤する職員に対して、月額55,000円を限度に支給
交通用具利用者	通勤距離2km以上を自動車などを利用して通勤する職員に対して、通勤距離区分により月3,000円（2km～4km）から24,500円（60km～）の範囲内で支給

(4) 住居手当

(平成18年4月1日現在)

借家居住者	月額12,000円を超える家賃を支払っている者に対して、月額27,000円を限度に支給
持家居住者	新築や購入のときから5年間、月額2,500円を支給

(6) その他の主な手当や特殊勤務手当

その他に地域手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、管理職手当、初任級調整手当（医師を対象）単身赴任手当、宿日直手当、管理職員特別勤務手当があります。

また、業務の困難性や危険性から特殊勤務手当を支給しています。特殊勤務手当は、危険手当、特殊現場作業手当など2種類あります。